



く せ ん 薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

芸術の秋 深める秋

校長 井上 光広

十一月は月末の二十五日（金）と二十六日（土）に「矢口文化芸術展」の開催を予定しております。展覧会ではなく、この名称にしたのは、本校が長年にわたって取り組んできた「矢口文化フェスタ」の伝統を何らかの形で持続させようという意味も込めています。二〇二〇年から始まっている新学習指導要領では、外国語が新教科として導入され、授業時間数が増加しております。これに加え、大田区が五、六年生の新しい教科として、独自に開発を進めております「教科・おたの未来づくり」（現在、区内七校で教科開発研究を行っており、本校もそのひとつ）を実施するにあたり、年間三十五時間をこの教科にあてることになる予定です。このように授業時間数の余裕が減少する中で、これまでのような矢口文化フェスタ形式を実施するには厳しい状況となると判断し、令和の時代に入ると同時に「矢口文化芸術展」「矢口文化芸術劇場」という取組に転換させた背景があります。その「文化芸術展」に向けて一学期より、子どもも教員も一緒になって、よい作品を作り上げようと努力してきました。参観日には、子どもたちの創意工夫の成果をどうぞゆっくり見てあげてください。

さて、今年度より本校は、STEAM教育の理念で学習を組み立てる研究を続けています。そのうちのAはアート、芸術分野の学習になります。

このAについての取組で俳句教育を導入しました。これには、日本学校俳句研究会代表の小山正見先生、講師の松本芳明先生、阿部郁恵先生にたびたび来ていただき、十一月二十九日の一年生の俳句教室をもって、全学級が指導を受けることになりました。

さらに、九月の四年生での研究授業を皮切りに、今後、三・五・六年生で研究授業を行い、「教科・おたの未来づくり」のカリキュラム開発を行なっていく予定です。矢口小学校学区の最大の特徴は、二つの商店街（矢口の渡商店街・安方商店街）を中心に、街が広がっていることではないかと私たち教員は認識しています。そして、ものづくりのスペシャリストの方々がたくさんいらっしゃること、この地域の特徴であると考えています。九月の四年生の学習では、国語「世界にほこる和紙」伝統文化のよさを伝えよう、社会「新宿でさかんな東京そめ小もん」総合的な学習の時間「わたしたちが発信します」地域にひろげよう矢口小もん」という教科を横断させる学習を行い、子どもたちが考えた矢口小紋について、安方商店街会長の黒川様や副会長の森田様にも授業に参加していただき、ご意見を伺う機会を作りました。これからも地域と共に進む矢口小学校を目指します。

【お知らせ】

◎矢口文化芸術展の参観については、これまで行っていた学年ごとの分散参観をせず、フリー参観としました。当日の会場状況に合わせて、参観者自身で入退場の判断をお願いいたします。

◎十二月三日（土）に予定されている第十二回管楽器・合唱合同演奏会に、本校の合唱団が初出演します。また、二月二十五日（土）に予定されている「かまにコンサート」にも出演します。合唱団員は欠席の無いように、今からご予定ください。

すすんでよいことをしよう

生活指導部

因果応報という言葉を知ると皆さんはどんな印象を受けるでしょうか。悪行は必ず裁かれるという様な意味で使われることがほとんどですが、善い行いをすれば必ず自分に返ってくるという考え方もあることを忘れてはいけません。昔話にしても正直者のおじいさんとおばあさんにはあとで必ず幸せが訪れましたし、反対に腹黒くて意地悪なおじいさんとおばあさんには後で必ず罰があたりました。いいことをすることで幸せを自分に引き寄せることが可能になります。学校生活では子どもたちが日々日直や係活動など、様々な仕事を行っています。生活指導部では、自分の役目を果たすとともに、各々が自らすすんで行動し、それらの習慣付けができるようこれからの活動を大切にしたいと考えています。今後も多くの成長の機会をつくり、自ら活動する姿を目指して指導していきます。

「矢口文化芸術展」について

文化行事委員会

今年度は図画工作と家庭科を主として、矢口文化芸術展を行います。

矢口文化芸術展に向けて、四月から作品の構成など検討を重ね、完成に向けて一生懸命制作をしています。作品をつくるうえで、楽しかったことや苦労したことなど、子どもたちのいろいろな思いのこもった作品を隅々までご覧ください。詳細は後日プログラムを配布しますのでご覧ください。今年度は、二十五日（金）と二十六日（土）の二日間を設定しています。二十五日（金）は、児童鑑賞日ですが、十五時半～十六時半までお子様と保護者の方が一緒に鑑賞できる時間を設けています。ぜひ、お子様と作品をご覧になり、学習の成果をたくさん褒めてあげてほしいと思います。二十六日（土）は、九時～十二時まで保護者鑑賞日とし、全ての学年の保護者をご覧いただけます。ぜひゆっくりと作品をご鑑賞ください。